

平成26年度

”函館・大沼・噴火湾ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2015/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-	-	景観に対する活動団体の意識が薄いため、ここ数年は関連する取組を行っていない。今後は、「美しい景観とは何か」等の景観に関する検討を役員会などの場で行っていききたい。
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-	
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-	-	ビューポイントの再発掘等の検討の場を役員会もしくは各自治体ごとの団体が参加する分科会の中で立ち上げ、行っていききたい。
		H17シーニックバスツアーの開催	-	-	-	-	-	
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-	
		フォトコンテストの開催	-	-	-	-	-	
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成26年4月29日(祝)	約120名	A - 1	ビューポイント周辺の清掃活動や植栽活動により、ビューポイント周辺の景観向上はもとより、おもてなしも含めた活動を継続している。今後も継続して行っていききたい。
		植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成26年6月～10月	約900名	A - 2	
			さわらフラワーロード	森町花いっぱい運動推進協議会	平成26年5月～11月	約1,000名		
		景観阻害の改善	-	-	-	-	-	
地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-	-	平成21年度から実施しているきじひき高原におけるシーニックの森づくり事業において、植樹した苗木の現状について調査を行った。また、ルート内の財産である赤松街道の保全のための活動を教育プログラムの一環として行っている。今後も継続して行っていききたい。	
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-	-		
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-	-		-
		自然環境教育プログラムの提供	シーニックの森植樹経過調査	NGO函館自然観察会	平成26年9月11日(土)	約17名		
			赤松観察会	赤松街道を愛する会	平成26年9月27日(土)	約15名		
			赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会	平成26年10月18日(土)	約40名		
			赤松こも外し体験会	赤松街道を愛する会	平成27年3月14日(土)	約40名		
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-	-	高齢者や障がい者のお手伝いを行うバリアフリーボランティアプロジェクトであるが、観光情報のニーズも高く、ボランティア同士で情報共有を図っている。また、このプロジェクトでボランティア活動を続けた方が、実際にガイドとして活動を行っており、ガイドの育成プログラムにもなっていることから、今後も継続して行っていききたい。
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	バリアフリーボランティア研修会	函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会	平成26年9月27日(土)、28日(日)	約30名		
			バリアフリーボランティアin函館駅	函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会	平成26年10月12日(日)	約15名		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2015/3/31	
		H26						
地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in 函館市縄文文化交流センター	シーニックdeナイト実行委員会	平成27年1月10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)	約80名		シーニックdeナイトで使用するキャンドルは、地域住民と観光客等による全て手作りのものである。キャンドル製作を通じた地域と観光客の触れ合いは、観光客にとって、「また来てみたい」と思わせるものであることから、今後も継続して行ってきたい。	
		キャンドル製作体験会in 朝市	シーニックdeナイト実行委員会	平成27年1月24日(土)、31日(土)	約200名			
	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成26年4月	-	活動団体一覧については、毎年度更新しており、今後も継続して行ってきたい。	
	地域メディアとのタイアップ	FMIあるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-		活動及びシーニックのPRのために、記者への投げ込みは積極的に行っている。今後、地域メディアとのタイアップについて、役員会などの場で検討を行っていききたい。
		FMIあるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-		
FMIあるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」		-	-	-	-			
多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	はこまち通信の作成	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成26年6月、9月、12月、平成27年3月	-		ルートの情報拠点である函館市地域交流まちづくりセンターが発行している情報誌「はこまち通信」に年4回、シーニック情報を掲載している。今後も継続して行ってきたい。	
	地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-			
観光	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-		ルート内には、北海道唯一の国宝「中空土偶」が常設展示されている函館市縄文文化交流センターを核とした縄文文化を体験できる活動が盛んである。今後も、これらの縄文資源を活用した活動を行っていききたい。	
	「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催	-	-	-	-			
	「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」	-	-	-	-			
	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	草木染め体験	北の縄文CLUB		平成26年6月7日(土)	約15名		
		土器づくり体験	北の縄文CLUB		平成26年8月23日(土)	約15名		
		土器野焼き体験	北の縄文CLUB		平成26年10月4日(土)	約15名		
		岩偶づくり体験	北の縄文CLUB		平成26年11月7日(土)	約15名		
		春の縄文染め	函館市縄文文化交流センター		平成26年5月18日(日)	約10名		
		縄文土器をつくってみよう!	函館市縄文文化交流センター		平成26年6月8日(日)	約10名		
		縄文土器野焼き体験	函館市縄文文化交流センター		平成26年6月29日(日)	約10名		
縄文文化を体験	遺跡の体験発掘をしてみよう! なにが見つかるかな?!	函館市縄文文化交流センター		平成26年8月1日(金)	約30名			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2015/3/31	
			H26					
		夏の縄文染め	函館市縄文文化交流センター	平成26年8月24日(日)	約10名			
		鹿角で釣り針をつくってみよう!	函館市縄文文化交流センター	平成26年9月7日(日)	約10名			
		秋の縄文染め	函館市縄文文化交流センター	平成26年10月12日(日)	約10名			
		ドキドキ! 土器づくり	函館市縄文文化交流センター	平成26年11月2日(日)	約20名			
		冬の縄文染め	函館市縄文文化交流センター	平成27年1月18日(日)	約10名			
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	シーニックdeナイト	シーニックdeナイト実行委員会	平成26年12月～平成27年2月	不明		ルートの柱となっている活動としては、「シーニック清掃活動」、「はこだて花かいどう」、「シーニックの森づくり事業」、「シーニックdeナイト」であり、活動団体の連携がなされている活動である。今後も、この4つの活動を軸に活動を行っていきたい。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-		
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-		
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	-	-	-	-		
		場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-	-		
歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-	-		どうなん追分シーニックバイウエイルートは、北海道の和人文発祥の地であり、歴史を活かした活動を予定していることから、今後は同ルートと歴史に主眼を置いたマップ作成などの連携なども役員会等の場で検討したい。	
	「函館の港を船上から学ぶ」講座	-	-	-	-			
その他		-	-	-	-			

HAKODATE Scenic Byway

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、地域住民や観光客が集う場所で、おもてなしの心で清掃活動を実施。今年度は下記の4箇所で一斉に実施した。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。
- 【日時】4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭タワー、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通り
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】主催者：110名、一般参加：10名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺

HAKODATE Scenic Byway

活動名：はこだて花かいどう

【概要】今年で11年の節目となるルート連携活動。6月の植栽前には、雑草とりやマルチシートの敷設などの準備から始まり、6月の植栽、7月～9月の月1回の花がら摘みや水やりなどの維持活動、10月の撤去活動、2月のシーニックdeナイトまでの年間を通した活動を実施している。また、植栽活動については、花株の提供や寄付はあるものの、自己資金で経費等を捻出しているため、ボランティア活動を継続していくためにも資金の獲得が必要。

【日時】平成26年6月14日（土）

【場所】函館新道

【主催】函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】主催者：約800名 一般参加：約100名



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2015/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成26年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	-	-	-	-	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	-
	ビューポイントを発掘する	-	-	-	-		-
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成26年4月29日(祝)	函館開発建設部、函館市、七飯町	五稜郭タワー、七飯町田園通り、函館市地域交流まちづくりセンターでのシーニック清掃活動に参加した。また、HPを通じた活動のPRを行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		A-1
		はこだて花かいどう	平成26年6月～10月	函館開発建設部、函館市、渡島総合振興局	植栽前の雑草取りやマルチシート敷設、植栽、維持活動、撤去への活動に参加した。また、HPを通じた活動のPRを行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		A-2
地域	自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森植樹経過調査	平成26年9月11日(土)	函館開発建設部	活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	-
	ガイドの発掘・育成	-	-	-	-		-
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会in函館市縄文文化交流センター	平成27年1月10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)	函館開発建設部、函館市	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
		キャンドル製作体験会in朝市	平成27年1月24日(土)、31日(土)	函館開発建設部、函館市、渡島総合振興局	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
	内部的な関心の共有、意識醸成	-	-	-	-		-
	地域メディアとのタイアップ	-	-	-	-		-
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	-	-	-	-		-
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	-	-	-	-	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	-
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト	平成26年12月～平成27年2月	函館開発建設部、函館市、七飯町、八雲町、渡島総合振興局	活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
	歴史を学び活かす	-	-	-	-		-

※表中“★”は、H25新規に実施した活動